

東京都水道局 環境5か年計画

2020-2024

水をはぐくむ豊かな地球環境を次世代に



令和2年(2020年)3月

 東京都水道局

東京都水道局環境5か年計画2020-2024の策定に当たって

水道事業は、地球が育んだ貴重かつ限りある水資源を原料に水道水をつくり、お客さまにお届けする事業であることから、地球環境と極めて深い関わりがあります。水をつくり届ける過程では、都内の使用電力量の約1%に相当する年間約8億kWhという多量のエネルギーを消費していることに加え、廃棄物を排出するなど、環境に対して少なからず影響を与えています。そのため、水道局では、2004年度以降、独自に環境計画を策定し、環境負荷の低減に継続的に取り組んできました。

しかしながら、当局を取り巻く状況は大きく変化しています。

近年、気候変動がもたらす影響が深刻化し、豪雨による河川の氾濫や、土砂崩壊など、自然災害の脅威が高まっています。昨年の台風19号では、水道施設の損傷等、安定給水に支障を来す事態を目の当たりにし、気候危機が目前に迫っていることを実感しました。そして、2015年のSDGs採択から4年が経過し、パリ協定が本格的に動き始めた今、持続可能な世界の実現に向け、自治体や事業者レベルでの自律的な取組が一層求められつつあります。

こうした中、都も昨年、2050年に世界のCO₂排出実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京」の実現を発表するとともに、気候変動に対する緩和策と適応策の総合的な展開や、資源利用に伴う都内外のCO₂削減等、あらゆる分野における施策を進化・加速させることを盛り込んだ新たな戦略を策定しました。

水道局では、こうした大きな変化を踏まえ、長期的な視点で将来像を描きつつ、5年間の環境対策の基本的な考え方と取組及び目標を明らかにした東京都水道局環境5か年計画2020-2024を策定しました。CO₂排出量の削減、水循環や緑の保全、持続可能な資源利用などの重要なテーマに対し、省エネ化や再エネの導入、水道水源林の保全や廃棄物の抑制等、これまでの取組の推進力を確実に高めつつ、プラスチック対策をはじめとする新たな課題や、気候変動への適応にも意欲的に取り組んでいきます。こうした施策を、お客さまをはじめとするみなさまのご理解を得ながら着実に推進することにより、環境保全と良好な事業経営とを両立し、持続可能な水道事業を実現していきます。

水道局は、今後も、お客さまの生活と首都東京の都市活動とを支える基幹ライフラインとして、安全でおいしい高品質な水を安定して供給し続けていくとともに、豊かな地球環境を次世代に引き継いでいくため、全力で取り組んでまいります。

令和2年(2020年)3月

東京都水道局長 中嶋 正宏

目次

第1 計画策定の背景

1 世界の動向	1
2 国の動向	1
3 都の動向	2
4 水道事業が環境に与える影響	3

第2 計画の位置付け

1 計画の位置付け	4
2 計画期間	4

第3 水道局のあるべき姿と環境基本方針

1 重要分野の特定	5
2 水道局のあるべき姿	6
3 環境基本方針と5年後の到達目標	7

第4 具体的取組

環境基本方針1 CO ₂ 排出量の削減	11
CO ₂ 排出量削減義務等への対応	25
環境基本方針2 健全な水循環と豊かな緑の保全	27
環境基本方針3 持続可能な資源利用	37
環境基本方針4 多様な主体との環境コミュニケーション	47
気候変動への適応	59
環境5か年計画の取組事項とSDGsとの対応関係	61

第5 推進の仕組みと体制

1 推進の仕組み	63
2 推進体制	64

資料編

1 関係法令・施策等	65
2 数字で見る水道局	67

東京都水道局環境基本理念

水は、私たちの生活に欠かせないものです。
その水をはぐくむ地球環境を守ることは、人類共通の課題です。
東京都水道局は、安全でおいしい水を安定的に供給するという事業活動を通して、
豊かな地球環境を次世代に引き継いでいくために努力します。

2000年4月